



高橋余一の「生活絵巻」

12 古井神社の祭礼



古い歴史を持つ由緒ある古井神社では、毎年春に祭礼が行われます。「ハイボウ（蠅追い）」の衣装が独特で、余一はその姿を絵巻の中に描いています。鬼に似た面をかぶり、赤い着物にしまの袴姿のハイボウは、太く立派なしめ縄をたすきがけにして、着物の袖をまくります。

案内人を先頭に、祭りの行列が街道筋を歩いていく様子は、余一が子どもの頃から親しんだ暮らしの中の原風景といえます。



※5/1号から「生活絵巻」は、本紙中ミュージアムニュースのページで掲載します

（上の絵）

蠅追いの着附け
金銀の水引
ねぢった木棒
シオリ結びの荒縄
竹のサハラ

（下の絵）

古井祭りを演出する人々
神官と氏子総代
宝獅子
太鼓
村長
櫃
区長
当元
神馬
蠅追
高張
案内